



5年ぶりに復活した「ナカマツのかき氷」を提供する佐藤さん＝臼杵市臼杵

思い出のかき氷 堪能

「ナカマツ」の味、1日限定復活

【臼杵】臼杵市で地元住民に親しまれた「ナカマツのかき氷」が14日、1日限定で復活した。ナカマツのかき氷を愛する有志の会（12人）により実現。思い出の味を堪能しようとする市内外から多くの人が訪れた。

かき氷は市内中心部にあつた仲松商店の仲松マスコさん（故人）が1963年から2010年まで提供した。器からはみ出るほどの盛りとふわふわとしたきめの細かさが特徴。子どもから大人まで絶大な支持を得ていたという。

子どもの頃から通っていた佐藤依理さん（49）と石崎良太さん（48）、恵さん（48）夫婦ら同級生が「仲松商店かき氷復活有志の会」を結成。実際に使っていたかき氷機や器などを譲り受け

臼杵 有志の会、5年ぶりに

た。19年に復活させ、提供した。毎年実施する予定だったが、新型コロナウイルス禍で中止に。「また食べたい」「いつやるの？」という声を受けて、5年ぶりに再復活させることにした。

味はいちごや宇治など12種類。材料の高騰で赤字のメニューもある中、当時のままの値段（300〜400円）で提供した。「利益より、味わいや懐かしさの再現にこだわりたい」と有志ら。

仲松さんの息子から指導



「ナカマツのかき氷」を味わう客

を受けた佐藤さんが削りを担当した。「氷の大きさによってネジを調整しながら削り進めていく。5年ぶりだが体が覚えていて」と腕を振るい、計約300杯を売り上げた。

地元で飲食店を営む西倉光江さん（68）は「20年ほど前に商店で食べた記憶が残っている。口溶けの良さが再現されていておいしい」と懐かしんだ。

佐藤さんは「思い出の味を提供できたならうれい。来年も開催できれば」と話した。（衣笠由布妃）

〔問①〕 1日限定で復活した、臼杵市で地元住民に親しまれた食べ物は何かですか。

ナカマツのかき氷

〔問②〕 その食べ物の特徴を答えましょう。また、その日は計約何杯を売り上げましたか？

器からはみ出るほどの盛りとふわふわとしたきめの細かさが特徴

300杯

〔問③〕 あなたはもう一度食べてみたい物や、これだけは残してほしい食べ物はありますか？

自由回答